

平成 29 年度事業報告書

社会福祉法人湘南の風

目 次

はじめに・基本理念	1
経営の原則・法人の方針	2
法人主要課題	3～4
利用実績	5
部門別	
法人本部総務課	6～12
もやい	13～15
mai!えるしい	16～17
えいむ	18～19
葉山はばたき	20～21
支援センター風	22～26
ジャストサイズ	27～28
委員会	29～30

はじめに

平成 29 年度を終えて

法人の運営は、平成 25 年度より、①福祉サービスの質の向上、②経営の透明性、③経営基盤の強化と財政の健全化の三本の柱を方針に掲げ行ってまいりました。

具体の主要課題として取り組んだ本部組織改編、福利厚生の実質促進計画、mai!えるしい工賃向上計画、支援センター風・ジャストサイズ桜山売却、もやい施設整備、支援センター風の移転、(仮称) ジャストサイズ小坪建設及び第三者評価受審の 8 項目の事業について、各事業ともほぼ予定どおり実施できたものと考えます。

ただ、これらの取組みは、支援を行うためのハード、ソフト面での基盤整備を行ったものであり、今後、これら整備された基盤をもってより良い障がい者支援の実現に努めてまいります。

財政面では、事業活動におけるサービス活動の収益が 6 億円を超えるなど、ほぼ堅調に推移しました。

今後も、健全、適正な財政運営を行ってまいります。

また、平成 29 年度は、社会福祉法人制度改革の実質稼働の年でもありました。

業務の執行機関となった理事会は、職員中心の理事で構成されることになり、制度に則りほぼ月 1 回の頻度で開催し業務執行上の案件を審議、決定してきました。

業務執行が内部職員の手任せに委ねられた分、反作用として外部の方々による議決機関である評議員会のチェック機能が一層重要になったもので、本法人は法定以上の権能を評議員会に付与していることから、評議員会が 3 回開催され、別に書面による決議が 1 回なされました。

今後とも、評議員会の審議に耐えうる事業執行を行うことを申し添え、ここに平成 29 年度の事業並びに決算の報告を行います。

平成 30 年 5 月

理事長 一 柳 康 男

社会福祉法人湘南の風
基本理念

1. 利用者が尊厳を持って、自立できる地域社会の実現を目指します。
2. 基本的人権を守り、個人の尊厳を重視した支援を行います。
3. 地域とともに歩み、地域から信頼される法人を目指します。
4. 常に法令を遵守し、良質な福祉サービスを提供します。
5. 法人の経営基盤を強化し、経営の透明性を確保します。

経営の原則

当法人は、平成 29 年度事業を執行するに際し、法人定款第 3 条に規定する法人経営の原則を遵守します。

【定款】

(経営の原則)

第 3 条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

法人の方針

1. 福祉サービスの質の向上

- ①利用者の快適で安定した地域生活を支援するため、グループホームの整備を推進します。
- ②個別支援計画の充実とサービス提供管理体制を構築します。
- ③障害者権利条約を守り、権利ある主体である個人の尊厳を重視した支援を行います。
- ④良質なサービス提供により利用者・家族・関係機関・地域社会との信頼関係を築きます。
- ⑤第三者委員によるサービスレベルの客観的な評価を受け、サービスの向上に努めます。
- ⑥人材育成と職員のモチベーションの向上のため、研修の充実を図ります。

2. 経営の透明性

- ①法令遵守と権利擁護の推進により、地域社会の信頼を得るべく努めます。
- ②第三者評価を積極的に受審し、法人経営の客観的な評価を受けます。
- ③事業運営の適正化を図るため、内部監査の充実を図ります。
- ④ホームページや広報誌等により、事業内容や財務諸表等の法人情報を公開します。

3. 経営基盤の強化と財政の健全化

- ①中期事業計画に基づき、効率的な事業遂行と予算執行を行います。
- ②法人の意思決定を行う中枢機関として本部機能を強化します。
- ③防災・減災体制を整備し、危機管理体制を強化します。
- ④各事業所における会計管理、予算執行管理を推進します。
- ⑤請求業務のチェック体制を強化し、正確で効率的な請求を行います。
- ⑥人材確保のため、年間を通じた職員採用計画を再構築します。

法人主要課題

1. 本部組織改編

①事業概要

総務課、経理課の二課制を総務課のみの組織に改編する。

②平成 29 年度の取組み

法人組織管理規程の改正を行い、平成 29 年 4 月 1 日から一課体制に改編しました。

2. 福利厚生 of 充実、促進計画

①事業概要

職員の安定的長期定着化を目的として職員厚生団体への補助を行う。

②平成 29 年度の取組み

職員厚生団体「湘南の風職員親睦会」に対してその年間会費と同額の補助を行いました。

③事業費

予算額 80 万円 補助金額 55 万 2,000 円

3. mai! えるしい工賃向上計画

①事業概要

工賃支給額の向上を目的とし、製菓の販路拡大と新規作業の開発、維持を行う。

②平成 29 年度の取組み

(株) 3・SUN・TREASURE からの製菓製造の受託においては、平成 28 年度比較で受託量が増え、一部製品については常設販売先が確保できました。

③平成 29 年度平均工賃月額

10,168 円 (平成 28 年度 6,753 円)

4. 支援センター風・ジャストサイズ桜山売却

①事業概要

支援センター風移転及びジャストサイズ桜山定住者の住居変更に伴い売却する。

②平成 29 年度の取組み

不動産鑑定を実施し、その鑑定価格に基づいて最低売却価格を設定しました。売買先の選定に当たっては不動産売買仲介業者と契約し、最低価格を上回る金額の提示があった相手方と売買契約を締結し平成 30 年 3 月 16 日をもって売却手を完了しました。

③売却価格

7,300 万円

5. もやい施設整備 (大規模修繕) 事業

①事業概要

築 20 年を経過した建物について「トイレ改修及び照明器具更新工事」、「玄関ホール風除室内部改修工事」、「外壁塗装 (屋上改修を含む。) 工事」を実施する。

②平成 29 年度の取組み

「玄関ホール風除室内部改修工事」を除く工事について実施しました。また、工事施工業者の選定に際しては法人経理規程に基づき入札や随意契約等を行いました。未実施となった「玄関ホール風除室内部改修工事」については平成 30 年度に実施する予定です。

③事業費

予算額 6,000 万円 決算額 5,501 万 3,420 円

6. 支援センター風施設整備（移転）事業

①事業概要

既存施設の有効活用を図るため mai!えるしい 2 階に移転する。

②平成 29 年度の取組み

移転に際し、従来の mai!えるしい休憩スペースの改修工事及び電話設備等の移設工事を行い、平成 29 年 8 月に移転を完了しました。

③事業費

予算額 995 万円 決算額 974 万 6,633 円

7. (仮称) ジャストサイズ小坪建設事業

①事業概要

グループホーム利用の需要に応ずるため、また既存のジャストサイズ小坪の移転先として、(仮称) ジャストサイズ小坪を新たに整備する。

②平成 29 年度の取組み

平成 29 年 9 月に建設業者との契約を締結し、同年 10 月に工事を着工、平成 30 年 3 月に竣工しました。名称をジャストサイズ小坪第 1（男性棟）及び第 2（女性棟）とし、平成 30 年 4 月に稼働しました。グループホーム全体として住居 8 棟、定住利用者は 43 名となり、ホームに併設する短期入所は 4 名の受入れが可能となりました。

③事業費

予算額 7,500 万円 決算額 7,730 万 4,501 円

8. 第三者評価受審事業

①事業概要

もやい及び新設のジャストサイズ堀内について客観的評価を受け広く公表することにより、利用者に対する情報提供を行うとともに、サービスの質の向上を図る。

②平成 29 年度の取組み

(公財) 神奈川県介護福祉士会による「高齢・障害者分野第三者評価」及び「障害者グループホーム第三者評価」を受審しました。平成 30 年 3 月、(公財) 神奈川県介護福祉士会ホームページに評価結果を公表しました。

③事業費

予算額 70 万円 決算額 57 万 2,000 円

利用実績

	定員	契約者数	年間稼働日数	延利用者数	稼働率	事業計画比較	
						延利用者数	達成率
もやい	40名	49名	247日	10,044名	101%	10,100名	99.4%
もやいデイサービス	20名	36名	249日	3,428名	68%	3,559名	96.3%
日中一時支援	5名	24名	247日	1,284名	103%	1,522名	84.3%
mai!えるしい	20名	20名	247日	4,204名	85.1%	4,414名	95.2%
えいむ	40名	44名	247日	8,656名	87%	9,055名	95.5%
葉山はばたき	20名	27名	247日	5,541名	112%	5,780名	95.8%
支援センター風 (特定相談)		245名	250日				
支援センター風 (障害児相談)		79名	250日				
支援センター風 (介護保険)		39名	250日				
支援センター風 (地域活動支援センター)	10名	32名	247日	926名	37.4%	1,229名	75.3%
ジャストサイズ	38名	38名	365日	11,209名	80%	12,000名	93.4%
ジャストサイズ (小坪・堀内)	3名	24名	365日	492名	45%	750名	65.6%

法人本部／総務課

1. 法令遵守

社会福祉法等の一部を改正する法律（平成 28 年法律第 21 号）の施行に伴い、特に理事会・評議員会の運営方法、必要書類等の整備を行いました。また、育児介護休業法及び労働契約法の改正に伴い、関連する規程を整備しました。

（仮称）ジャストサイズ小坪整備事業の入札について、法令や経理規程に基づき実施しました。

内部監査については、前年に引き続き請求事務の相互チェックと併せ、法人・事業所の意思決定の記録である稟議書・決裁書も対象とした確認作業に取り組みました。

12 月に平成 25 年度以来となる神奈川県指導監査を受けました。6 項目について文書指摘を受け、理事会への報告を経て神奈川県へ改善報告を行いました。

2. 中期事業計画

中期事業計画について平成 29 年度実施事業の進捗管理を行いました。計画に則り完了した事業がある一方で、未着手のため、修正を必要とする事業も生じてしまいました。年度末に際しては各事業所とのヒアリングを行い、平成 30 年度以降の 4 年間について必要な見直しを行い、理事会・評議員会に諮ります。

3. 連絡調整

法人運営に資するため法人内外の連絡、情報の収集・分析・発信及び理事会・評議員会、運営会議等諸会議の運営、第三者委員の事務局機能を担いました。

理事会の開催について、電話連絡にて開催日の同意を得ることで開催通知の発送を省略し手続きを行ってききましたが、連絡ミスにより第 8 回理事会の監事への連絡が出来ていないという状況を生じさせてしまいました。同様の事故が無いよう以降は開催通知の発送をもって日程連絡を行うよう徹底することとしました。

<理事会開催実績>

第 1 回理事会

開催日	平成 29 年 4 月 1 日（土）	出席者	理事 6 名	監事 1 名
議案第 1 号	経理規程の一部改正について			（可決）
議案第 2 号	有期契約職員就業規則の一部改正について			（可決）

第 2 回理事会

開催日	平成 29 年 5 月 30 日（火）	出席者	理事 6 名	監事 2 名
議案第 1 号	平成 28 年度事業報告及び決算について			（可決）
議案第 2 号	基本財産の担保提供について			（可決）
議案第 3 号	平成 29 年度もやいトイレ改修及び照明器具更新工事契約について			（可決）
議案第 4 号	役員報酬規程の制定について			（可決）
議案第 5 号	評議員及び役員等の旅費及び第三者委員の報酬に関する規程の制定について			（可決）
議案第 6 号	経理規程の一部改正について			（可決）
議案第 7 号	法人組織管理規程の一部改正について			（可決）

議案第8号	事務局長の選任について	(可決)
議案第9号	総務課長の選任について	(可決)
議案第10号	施設長の選任について	(可決)
議案第11号	平成29年度社会福祉充実計画について	(可決)
議案第12号	平成29年度定時評議員会の招集について	(可決)
議案第13号	平成29年度第1回補正予算について	(同意)
議案第14号	稟議規程の一部改正について	(可決)

第3回理事会

開催日	平成29年6月23日(金)	出席者	理事6名	監事2名
議案第1号	社会福祉充実計画の取下げについて			(可決)
議案第2号	平成29年度第1回補正予算について(修正)			(同意)

第4回理事会

開催日	平成29年6月23日(金)	出席者	理事6名	監事2名
議案第1号	理事長の互選について			(可決)
議案第2号	就業規則の一部改正について			(可決)
議案第3号	運営規程の整備に関する規程について			(可決)

第5回理事会

開催日	平成29年8月28日(月)	出席者	理事5名	監事1名
議案第1号	(仮称) ジャストサイズ小坪建設工事契約について			(可決)
議案第2号	ジャストサイズ共同生活援助運営規程の一部改正について			(可決)
議案第3号	施設長の選任について			(可決)

第6回理事会

開催日	平成29年9月28日(木)	出席者	理事5名	監事1名
議案第1号	育児・介護休業等に関する規則の一部改正について			(可決)

第7回理事会

開催日	平成29年10月26日(木)	出席者	理事6名	監事1名
議案第1号	基本財産の処分に係る契約方法について			(可決)

第8回理事会

開催日	平成29年11月30日(木)	出席者	理事6名	監事0名
議案第1号	基本財産の処分について			(同意)
議案第2号	平成29年度第2回補正予算について			(同意)
議案第3号	株式会社TKCの株式受入れについて			(可決)
議案第4号	施設長の任免について			(可決)
議案第5号	ジャストサイズ共同生活援助運営規程の一部改正について			(可決)
議案第6号	平成29年度臨時評議員会の招集について			(可決)

第9回理事会

開催日	平成30年1月30日(火)	出席者	理事6名	監事2名
報告	平成29年度神奈川県指導監査の結果について			
議案第1号	経理規程の一部改正について			(可決)

第10回理事会

開催日	平成30年2月27日(火)	出席者	理事5名	監事2名
	今後の予定について			

第11回理事会

開催日	平成30年3月13日(木)	出席者	理事5名	監事2名
議案第1号	平成30年度事業計画(案)について			(同意)
議案第2号	平成30年度予算(案)について			(同意)
議案第3号	定款の変更について			(可決)
議案第4号	役員報酬規程の一部改正について			(可決)
議案第5号	理事の選任について			(可決)
議案第6号	平成29年度第2回臨時評議員会の招集について			(可決)
議案第7号	平成30年度給食業務委託契約について			(可決)
議案第8号	年俸制度規程の廃止について			(可決)
議案第9号	定款施行細則の一部改正について			(可決)
議案第10号	法人組織管理規程の一部改正について			(可決)
議案第11号	稟議規程の一部改正について			(可決)
議案第12号	就業規則の一部改正について			(可決)
議案第13号	有期契約職員就業規則の一部改正について			(可決)
議案第14号	育児・介護休業等に関する規則の一部改正について			(可決)
議案第15号	定年退職者の嘱託に関する規程の一部改正について			(可決)
議案第16号	運営規程の整備に関する規程について			(可決)
議案第17号	事務局長の選任について			(可決)
議案第18号	総務課長の選任について			(可決)

<理事会(決議の省略)実績>

決議があったものとみなされた日	平成29年4月28日(金)	提案者	理事	一柳康男
案件1	もやい施設整備(大規模修繕)事業の競争入札に係る指名業者の選定基準について			(可決)
案件2	ジャストサイズ水科改修工事の競争入札に係る指名業者の選定基準について			(可決)
案件3	ジャストサイズ共同生活援助運営規程等の一部を改正する規程について			(可決)

<評議員会開催実績>

定時評議員会

開催日	平成29年6月23日(金)	出席者	評議員8名	
報告	平成28年度事業報告			

議案第1号	平成28年度計算書類及び財産目録の承認について	(可決)
議案第2号	基本財産の担保提供について	(可決)
議案第3号	役員報酬規程の制定について	(可決)
議案第4号	理事の選任について	(可決)
議案第5号	監事の選任について	(可決)
議案第6号	平成29年度第1回補正予算について	(可決)

第1回臨時評議員会

開催日	平成29年12月14日(木)	出席者	評議員8名
議案第1号	基本財産の処分について		(承認)
議案第2号	平成29年度第2回補正予算について		(承認)
議案第3号	株式会社TKCの株式受入れについて		(可決)

第2回臨時評議員会

開催日	平成30年3月22日(木)	出席者	評議員6名
議案第1号	平成30年度事業計画(案)について		(承認)
議案第2号	平成30年度予算(案)について		(承認)
議案第3号	定款の変更について	(出席評議員数の不足により未決)	
議案第4号	役員報酬規程の一部改正について		(可決)
議案第5号	理事の選任について		(可決)

<評議員会(決議の省略)実績>

決議があったものとみなされた日	平成30年3月29日(木)	提案者	理事 一柳康男
案件1	定款の変更について		(可決)

<第三者委員施設訪問実績>

訪問先	日程	合計
もやい	6/6、10/24、1/16	3回
もやいデイサービス	6/6、10/24、1/16	3回
日中一時支援	10/24	1回
mai!えるしい	5/9、9/26、12/12、	3回
かあむ	4/18、6/22、10/31、2/20	4回
えいむ	7/5、11/21、2/6	3回
葉山はばたき	4/11、7/25、1/23	3回
支援センター風	9/26、12/12	2回
ジャストサイズ	5/23、6/22、10/31、3/13	4回

4. 人事

①採用

平成30年度採用者は2名となりました。新卒者確保の採用活動として採用活動支援サービスの利用を開始しましたが、当該サービスの成果は得られませんでした。また、中途採用者の採用に関しては求人誌及び求人広告への掲載を行い、平成29年度中の採用者は3名となりました。

②研修

集合研修

研修名	実施日	講師又は依頼先	内容	対象者	参加者
新人研修	4/3, 4 他	法人管理者	法人の理解、障がいの理解等について	新入職員	7名
接遇研修	4/13	川原経営 総合センター	福祉における接遇について	新入職員	13名
介護技術研修	4/13	神奈川県 介護福祉士会	介護技術の基礎について	新入職員	16名
安全運転講習会	7/11	逗子警察署	安全運転について	運転免許所持者	60名
	9/25、26	トヨタ レンタリース神奈川	安全運転に関する座学・実地指導	運転手等	30名
階層別研修①	11/24、12/15 1/19、2/16	法人管理者	各事業所の事例検討	2年目以上職員	12名
階層別研修②	9/21、11/29 12/21、1/24	東京学芸大学菅野氏	知的障がい者支援に関して専門的な理論等を習得し事業所における職員指導や事業運営を学ぶ。	4年目以上職員	16名
宿泊研修	1/28、29	理事長	正しいものの見方・考え方の修得、組織統治の基本の修得 法令遵守意識の涵養について法人規程を用いて修得する。	主査・サビ管	14名
コンプライアンス研修	12/5	かながわ 福祉サービス振興会	コンプライアンス経営 - 社会に貢献できる組織づくりを-	常勤職員	46名
安全衛生研修	12/19	労働者健康福祉機構	メンタルヘルスケアについて	全職員	42名
虐待防止研修	2/6、7	みなと 横浜法律事務所	障がいがある人との関りと虐待防止	全職員	118名
中間事業報告会	9/23	各事業所職員	平成29年度上半期の事業報告	常勤職員	61名
事業報告会	3/31	各委員会委員他	平成29年度委員会報告・自主県外視察研修報告	常勤職員	65名

派遣研修

研修名	実施日	主催	内容	対象者	参加者
新任福祉施設等合同研修	4/20	神奈川県 社会福祉協議会	社会福祉施設従事者として礎となる社会福祉の理念、職業倫理や法人理念の理解を踏まえ、従事者の基本姿勢や新任職員の役割を学ぶ。	新入職員	4名
キャリアパス対応生涯研修課程（初任者編）	7/21、28 8/2、9 10/13、20	神奈川県 社会福祉協議会	福祉従事者として礎となる社会福祉の基本理念、職業倫理を学び、気づきを振り返りながら自身の将来像を描き、そこに到達するために何が必要かを考える契機とする。	新入職員	8名
キャリアパス対応生涯研修課程（中堅職員編）	9/6、13 9/7、14	神奈川県 社会福祉協議会	中堅職員が職場で期待される役割について理解を深めるとともに、職務遂行に必要な知識及び技術を習得し、資質向上及び職場定着を図る。	中堅職員	2名
キャリアパス対応生涯研修課程（チームリーダー編）	7/3、10 8/7、23	神奈川県 社会福祉協議会	ケア会議における方針や職員会議等における合意形成に向かうために用いる会議進行役の態度や言葉遣いなどの基本スキルを身に付ける。	主査	4名
プレマネージャー研修	3/5	神奈川県 社会福祉協議会	管理職になるにあたってマネジメントの本質を理解するとともに、求められる知識やスキルの全体像を把握する。	主査	4名
施設運営管理研修	3/14	神奈川県 社会福祉協議会	社会福祉施設の適正な運営に必要な基礎的な役割や知識を学び、社会福祉施設のマネジメントを深める。	主査	5名
全国社会福祉法人経営者大会	9/14、15	全国社会福祉法人 経営者協議会	社会福祉法人が国民及び利用者の視点に立ち、地域に目を向けてその社会的責任を果たしていくために何をなすべきかについて研究協議する。	管理者	1名
全国経営協「経営塾」	9/25、26 11/13、14 1/17、18	全国社会福祉法人 経営者協議会	次世代経営幹部として、社会福祉法人が置かれている経営環境並びに自法人及び自身の役割を理解し、自法人の経営課題を解決するためのスキルを習得する。	管理者	1名
障害福祉事業経営セミナー	2/27	全国社会福祉法人 経営者協議会	全国経営協の活動動向と地域共生社会における社会福祉法人の役割等を学ぶ。	管理者	3名

二

視察

研修名	実施日	視察先	目的	対象者	参加者
自主県外視察研修	1/12、13	社会福祉法人桐友学園 社会福祉法人美里会	自主的に視察を行うことにより、障がい者支援の先進例を学習し、職員の自立性向上	常勤職員	6名
県外視察研修	10/2	社会福祉法人長野県 社会福祉事業団	地域生活支援拠点等として先進的な取組みを実践している法人を視察し、具体的な方策を学ぶ。	管理者	5名

③職員育成

常勤職員について年度当初に自己申告書を作成。平成 29 年度は職員育成指針に基づき自己評価による職員個々の目標設定等を行いました。下半期には目標の振り返りと併せ、管理者からの評価を行いました。非常勤職員については新年度に向けた契約更新の意向確認も含め、年末から年始にかけて意向調査を実施しました。

④給与

職員の給与、賞与等の支払い事務においてデータ入力者と確認者のチェック体制を整えましたが、十分に機能するには至りませんでした。

⑤その他

国家資格取得のための労働環境整備には着手できませんでした。国家資格取得者への報奨については対象者がいませんでした。

⑥福利厚生

法人主要課題 2 参照

5. 広報

法人パンフレットの更新作業を進めてきましたが年度内の発行には至りませんでした。平成 30 年度 5 月の更新版発行に向けて作業を進めています。

情報開示については、法人ホームページでの定款、財務諸表の公開をはじめ、全国社会福祉法人経営者協議会等の関連団体の専用サイトなどを活用し、経営の透明性を担保する情報開示に努めました。

法人会報については年 3 回発行しました。

6. 防災

防災マニュアルの見直しについては着手できませんでした。緊急連絡網については年度当初及び入退職の度に更新し、有事を想定した緊急連絡テストを実施しました。

7. 収入

社会福祉サービス事業の収入は通所利用者数の増加及びジャストサイズ新池子の開所により堅調に推移しました。また、旧支援センターの土地を 7,300 万円で売却しました。

8. 運営管理出納事務

毎月行われる運営会議にて各施設の稼働率・資金収支の推移を確認し、問題点の早期発見及び問題解決の話し合いを随時行いました。

9. 委託業務出納事務

計画のとおり執行しました。

10. 施設整備出納事務

ジャストサイズ小坪建設費用（7,730 万円）ともやい大規模修繕（5,500 万円）等の資金捻出のため、施設整備等積立金資産を 7,700 万円取り崩し、また、市内金融機関から 5,000 万円の借入を行いました。

また、支援センター風の移転のため mai!えるしい内部改修工事（1,000 万円）を行いました。

もやい（生活介護／日中一時支援）

1. 支援事業

(1) もやい

- ①男女人数 男性 28 名 女性 21 名
- ②年齢構成 19 歳～57 歳（平均年齢 38.6 歳）

③障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	0	0	1	6	12	9	21	49

④障がいの状況

	人数		人数
知的障がい	25	重複障がい（知的、身体）	22
身体障がい	1	重複障がい（身体、精神）	1
		合計	49

⑤入退所の状況

新規利用者 2 名（内 1 名退所）

⑥支援の内容

月に一度の職員ミーティングにて施設長、主査及びサービス管理責任者をスーパーバイザーとし、知的障がい者支援の基本から専門的な手法等について学ぶ取組みを行いました。具体的な手法については、主査、サービス管理責任者等が現場で直接的な指導を実施しました。

利用者の障がいの特性や高齢化、重度化に伴い、グループ編成の変更及び活動場所の変更を行いました。

理学療法士を配置し、機能訓練を行う職員に対し、専門的な知見から助言指導を行う体制を整備しました。

⑦第三者評価の受審

- ・評価機関：公益財団法人神奈川県介護福祉士会
- ・訪問調査：平成 30 年 1 月 11 日（木）
- ・評価結果の発効：平成 30 年 3 月 5 日（平成 33 年 3 月 4 日まで有効）

(2) もやいデイサービス

- ①男女人数 男性 22 名 女性 14 名
- ②年齢構成 42 歳～90 歳（平均年齢 69 歳）

③障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	0	0	8	11	8	5	4	36

④障がいの状況

	人数		人数
知的障がい	3	重複障がい（知的、精神）	2
身体障がい	24	重複障がい（身体、精神）	4
精神障がい	3	合計	36

⑤入退所の状況

新規利用者 4名 (2名退所)

⑥支援の内容

活動プログラムについて新たにフラワーアレンジメントを提供しました。今後はより自立した生活を支援するため活動種の増加や見直しを行います。

年間の平均利用者数は 13.6 名で、目標としていた利用率に対しやや下回った結果でした。引き続き利用者の皆様のニーズの把握及び新規利用者の獲得のための取り組みを行います。

(3) 日中一時支援

①男女人数 男児 15 名 女児 8 名

②年齢構成 6 歳～18 歳 (平均年齢 11.9 歳)

③基本報酬区分 (6 歳～17 歳)

	区分 1	区分 2	区分 3	計
人数	2	7	10	19

④障害支援区分 (18 歳)

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	1	0	0	0	2	0	1	4

⑤障がいの状況

	人数		人数
知的障がい	19	重複障がい (知的、身体)	3
身体障がい	1	合計	23

⑥入退所の状況

新規利用者 5名

退所者 2名

⑦支援の内容

活動場所について、安全対策としてクッションフロアの設置を行いました。ケガ等の事故はありませんでした。夏季のプールについては、安全確保と健康管理のため健康チェックカードを活用し、通所時に体温等の体調把握を行うとともに保護者からの許可があった児童のみプール活動を提供しました。

支援員の体制について、もやいダイサービス職員と兼務の体制をとり、柔軟な職員配置を行いました。また、ボランティアを配置し児童一人ひとりに目が届くよう留意しました。学校の長期休暇(夏季、冬季)時にも概ね保護者の希望どおりの受け入れることができました。

2. 施設管理事業

トイレの清掃について、週に 3 日業者委託したことにより職員の業務負担が減り、記録の記入や翌日の準備等にあてる等業務の効率化につながりました。

3. 施設整備事業

「トイレ改修及び照明器具更新工事」、「外壁塗装 (屋上改修を含む。) 工事」を実施しました。「玄関ホール風除室内部改修工事」は未実施となりましたが平成 30 年度に実施する予定です。

4. 研修事業

実施日	内 容	参加者
7/6	医療看護研修会 強度行動障害の支援Ⅱ	石黒
7/6、7/7	社会福祉法人地域福祉協会せせらぎデイサービス現場研修	志村、岡本
7/14	かながわ運営適正化委員会 苦情解決研修会（基礎編）	志村、斗舂
9/22	神奈川県知的障害施設団体連合会支援スタッフ部会研修	石黒
9/27	福)翔の会 湘南鬼瓦施設見学	小林、斗舂、久喜
10/27	中央労働災害防止協会 腰痛予防対策講習会	大場
11/10	逗子市基幹相談支援センター主催 意思決定支援研修	小林
12/10	日本発達障害支援システム学会研究セミナー	小林、斗舂、半田 大木、石黒
1/25	社会福祉法人・施設職員災害対応研修会	志村
1/22、1/23	全国社会福祉協議会 障害者虐待防止リーダー職員研修会	半田
1/31	強度行障害対策事業公開講座	大木、菅原
2/13	逗子市基幹相談支援センター研修 「発達障害」研修	岡本、石川
2/27	神奈川県社会福祉協議会 新人行動力強化研修	藤木

- ・内部研修として月に1回常勤職員と非常勤職員（支援員）が一同に会し、支援の基礎から応用を学ぶ機会を設定した。

5. 防災事業

- ①訓練 地震津波訓練を2回、火災訓練（通報、消火、避難）を1回実施しました。
- ②備品 使用期限切れの非常食の入替えを実施しました。

6. 総括

各事業の支援の課題として職員の理論に基づいた支援の実践が挙げられます。本年度は内部研修を月次で取り組み、少しずつ支援への効果が見られ始めています。次年度においても同取り組みを継続し、職員の知識と技術の向上を目指します。また、各業務について、実際の支援現場や書類作成等事務作業等の現状を確認し、より効率良く業務が遂行できるよう業務改善を図ります。

mai!えるしい（就労継続支援B型）

1. 支援事業

- ①男女人数 男性 15 名 女性 5 名
- ②年齢構成 22 歳～55 歳（平均年齢 38.5 歳）
- ③障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	4	0	5	9	1	1	0	20

④障がいの状況

	人数		人数
知的障がい	18	重複障がい（知的、精神）	2
重複障がい（知的、身体）	2	合計	20

⑤入退所の状況

- 新規利用者 1 名
- 退所者 2 名

⑥支援の内容

就労継続支援B型としての事業継続について検討会を持ち、同サービスを継続することとなりました。継続の要件として、工賃の向上、高年齢化した利用者にも提供できる作業の構築が挙げられ、平成 30 年度にも引き続き検討の場を持つこととなりました。

（株）3・SUN・TREASURE からのマーガレットケーキ、ベジクラッカー製造の受託においては、H28 年度比較で受託量が増え、マーガレットケーキに関しては常設販売先が出来ました。また、既存の製品の成型を変更し、季節商品とし販売しました。

かあむでは、メニューボードの刷新と掲示を見直しました。前年度を大きく上回る売り上げがありました。

2. 施設管理事業

利用者工賃の向上、就労支援会計の適正化及び平成 30 年度からの報酬改定への対応を目的とした期末手当の支給を行いました。結果、平均工賃月額 10,000 円を実現しました。

3. 施設整備事業

平成 29 年 5 月から 6 月にかけて 2 階部分の改修を行い、7 月に支援センター風が移転しました。2 階雨漏りの補修工事を行いました。工房の製菓関係機材の点検と性能調査を行い、計画的な入替を検討しました。

4. 研修事業

実施日	内 容	参加者
7/11	アサーション研修	龍村
7/14	苦情解決研修会（基礎編）	大房
9/6	安全衛生推進者養成研修	大房
12/1	食品表示セミナー	大房・龍村・熊岡
1/19	接遇・マナー研修	熊岡
1/19	審査員になろう 階 OOD PRESENTATION	大房・龍村
1/25	社会福祉法人施設職員災害対応研修	大房
2/15・3/15	食品衛生責任者講習会	大房・龍村

5. 防災事業

- ①支援センター風と合同で、火災避難訓練2回、津波避難訓練1回を行いました。
- ②防災備品の点検を行いました。

6. 工賃支払状況

単位：円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
金額	149,000	151,480	145,680	140,880	140,240	145,640	143,840
人数	21	20	20	19	19	19	19
平均	7,095	7,574	7,284	7,415	7,381	7,665	7,571
	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	合計
金額	151,400	138,360	138,200	139,960	804,840	199,127	2,389,520
人数	19	19	20	20	20		235
平均	7,968	7,282	6,910	6,998	40,242		10,168

7. 総括

平成28年度の稼働率85%を改善すべく利用者の獲得を目指しましたが、年度当初2名の退所に加え、新規利用者の獲得が1月になってしまったこともあり、稼働率の改善に至りませんでした。達成率は91%でした。平成30年度は稼働率90%（利用者1名増）を目指します。

事業所の在り方に関する検討会を3回開催し、就労継続支援B型の継続を決定しました。制度改正、報酬改定においては、同事業の改正点が大きく予定されていたため、情報収集を早期に行い、早めの対策が求められました。

就労環境、工程の改善、業務提携が功を奏し、就労支援会計は改善し、期末手当の支給を経て平均工賃1万円を達成することができました。しかし、県内の同事業の平均工賃が1万5千円であるため、さらなる工賃向上に努めてまいります。

えいむ（生活介護）

1. 支援事業

- ①男女人数 男性 40 名 女性 4 名
- ②年齢構成 19 歳～48 歳（平均年齢 33.5 歳）
- ③障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	0	0	0	6	16	13	9	44

④障がいの状況

	人数		人数
知的障がい	42	重複障がい（知的、精神）	1
重複障がい（知的、身体）	1	合計	44

⑤入退所の状況

- 新規利用者 2 名
- 退所者 0 名

⑥支援の内容

日々の活動は銅線解体を中心に提供しました。それ以外に資源回収及び箱折等の受注作業、苗木栽培等の下請作業等の作業を提供しました。小集団での活動と共に個々の支援目標に沿った課題を提供しました。また、PECS を用いたコミュニケーション支援を中心に行い、本人の能力に応じた個別課題への支援を行いました。作業・コミュニケーションいずれの支援に際しても適宜アセスメントを行いながら、個々のレベルに応じた課題に取り組みました。また、1 階ホールを利用し、フライングディスクや軽体操等、運動機能維持を目的とした活動も提供しました。

2. 施設管理事業

- ①業者清掃を実施し、食堂については床面剥離作業を行いました。
- ②施設周囲の植木剪定及び雑草の除去作業を実施しました。
- ③館外駐車場に置かれていた不用品の廃棄を行いました。
- ④5 S 活動に取り組み、計画的に施設内外の環境整備に努めました。

3. 施設整備事業

- ①中期事業計画に基づき、エレベーターのバッテリー他消耗部品交換及び玄関防火シャッターのバッテリー交換を行いました。
- ②各階ドア及び壁の修繕を行いました。

4. 研修事業

実施日	内 容	参加者
5/11・5/12	平成 29 年度甲種防火管理新規講習会	藤代
7/14	平成 29 年度苦情解決研修会	橘
7/19	平成 29 年度新任職員人権研修	岩戸
7/26	平成 29 年度 4 県市合同施設長会研修会	萩原
7/31	平成 29 年度新任職員人権研修	館山

8/24	平成 29 年度強度行動障害対策研修	舘山
9/29	平成 29 年度神奈川県強度行動障害対策研修	岩戸
10/2	強さを見つけて支援につなげる対話	岩戸
10/30～31	平成 29 年度神奈川県強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】	黒川
10/20, 11/2	平成 29 年度接遇リーダー研修	山崎
10/28, 11/18	自閉症セミナー2017	舘山
11/16	発達障害のあるお子さんへの SST の活用	舘山
11/24	平成 29 年度第 3 回施設長会研修会	萩原
12/18	第 35 回神奈川県障害福祉職員実践報告会	橘/山崎
1/19	平成 29 年度第 3 回事務研修会	萩原
1/22～23	平成 29 年度神奈川県強度行動障害支援者養成研修【実践研修】	黒川
1/25	平成 29 年度社会福祉法人・施設職員災害対応研修会	橘
1/25	意思決定支援について	舘山
1/31	利用者のスキルや特性を知ろう～現場ですぐにできるアセスメント～	舘山
2/7	国立のぞみの園セミナー2018	萩原
2/8	平成 29 年度神奈川県社会福祉協議会施設部会研修会	萩原
2/27～2/18	PECS レベル 1 ワークショップ	舘山
2/27	平成 29 年度新人行動力強化研修	平柳
2/16, 3/6, 7	平成 29 年度神奈川県サービス管理責任者研修	藤代
3/9	平成 29 年度第 5 回施設長会研修会	萩原
3/12	平成 29 年度第 4 回事務研修会	萩原
3/15	人権委員会視察研修「府中刑務所」	萩原
3/16	平成 29 年度強度行動障害対策基礎力養成研修	黒川

5. 防災事業

- ①訓練 火災を想定した総合訓練(消火・通報・避難)を年2回実施しました。
- ②備品 非常食を含めた防災備品の入替えを行いました。

6. 総括

支援事業では、作業プログラム以外に個別の学習課題を提供することで利用者個々の障がい特性に応じた活動を提供することができました。今後、利用者の高齢化に伴う身体機能維持を目的とした運動プログラムの提供を含め、より利用者個々のニーズに応じた活動をアセスメントしながら支援の充実化を図ります。

研修事業では、各職員の支援力の向上を目的として多くの研修会に職員を派遣しました。特に「第 35 回神奈川県障害福祉施設職員実践報告会」では日々の支援実践を報告することで客観的な評価を得る機会に繋がりました。

次年度以降も継続して外部研修に職員を派遣するとともに事業所内の研修体制の在り方についても検証し、職員の支援力の向上を図ります。

葉山はばたき（生活介護）

1. 支援事業

- ①男女人数 男性 11 名 女性 16 名
 ②年齢構成 19 歳～74 歳（平均年齢 41.7 歳）
 ③障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	0	0	2	5	9	7	4	27

④障がいの状況

	人数		人数
知的障がい	14	重複障がい（知的、精神）	2
重複障がい（知的、身体）	11	合計	27

⑤入退所の状況

新規利用者 1 名

⑥支援の内容

利用者の高齢化、重度化に応じた活動提供の整理とともに、障がい特性に応じた支援環境の整備を行いました。また、作業活動の安定した提供を目指し、アルミ缶収集量の拡大に取り組むとともに、下請け作業の新規受注を行いました。そして、地域との交流（社会資源の活用）と余暇の充実を目的として、全利用者を対象としたグループ別の外食イベントを実施しました。

2. 施設管理事業

「福祉サービス利用者意向調査キット」を導入し、調査結果からサービス提供における客観的な評価を得ることで、より良いサービス提供に向けた課題について分析を行いました。

3. 施設整備事業

- ①蛍光灯のLED化を実施し、事業運営の効率化を図りました。
 ②葉山はばたき前にカーブミラーを設置し、安全な通行のための整備を図りました。

4. 研修事業

実施日	内 容	参加者
4/20	平成 29 年度新任福祉施設等合同研修	齊藤
6/13・20	平成 29 年度地域リハビリテーション研修	齊藤
6/19	平成 29 年度 6 月支援スタッフ部会研修	古賀
6/23	平成 29 年度ストレスマネジメント研修	古賀
6/27・28	強度行動障害対策事業公開講座	齊藤
7/11	平成 29 年度アサーション研修	原田
7/14	平成 29 年度苦情解決研修会	松島
7/25	平成 29 年度神奈川 LD 協会主催研修会	橘
7/26	神奈川県知的障害施設団体連合会主催研修会	安達
7/27・28	平成 29 年度神奈川県相談支援従事者初任者研修	古賀
7/31	神奈川県知的障害施設団体連合会新任職員人権研修	關

8/18	平成 29 年度心身障害児療育普及研修(理学療法コース)	安達
8/24	平成 29 年度神奈川 LD 協会主催研修会	齊藤
9/7・8	平成 29 年度神奈川県相談支援従事者初任者研修	古賀
10/2	平成 29 年度心理公開講座	齊藤
10/17・18	平成 29 年度日本防火・防災協会 防火管理者講習会	安達
10/30	平成 29 年度医療看護研究会第 2 回研修会	安達
11/7・8・9	平成 29 年度神奈川県相談支援従事者初任者研修	古賀
11/13	平成 29 年度神奈川県オンブズマンネットワーク交流研修会	萩原
11/25・26	2017 年度社会福祉士実習指導者講習会	松島
11/25	平成 29 年度神奈川県発達障害支援センター公開講座	安達
12/12・13	平成 29 年度日中活動支援部会全国大会	萩原
1/19	かながわ福祉サービス振興会主催研修会	原田
1/19	平成 29 年度接遇・マナー研修(秋季コース)	齊藤
1/25	社会福祉法人・施設職員災害対応研修会	安達
2/9	平成 29 年度普通救命講習 I	松倉
2/27	障害者福祉事業経営セミナー	松倉
3/13	地域移行・地域定着支援促進研修	安達

※上記派遣研修の他、事業所内研修(9回)及び事例検討(2回)の実施し、さらに「第 35 回 神奈川県障害福祉施設職員実践報告会」での実践報告を実施しました。

5. 防災事業

- ①訓練 火災を想定した総合訓練(3回)及び津波を想定した避難訓練(1回)を実施した他、館内の A E D 並びに消防用設備の取扱いに関する研修を実施しました。
- ②備品 災害用非常食の入替えを行いました。

6. 総括

支援事業では、利用者個々に応じた重点支援領域の見直しと活動提供の整理を行い、個別支援計画プロセスに基づく日々の支援の実践環境を整備することができました。また、障がい特性に応じた環境整備を行うことで、取組み成果の向上も図ることができました。また、作業活動においては、作業量の安定した確保に取り組み、一年を通じた作業活動の提供が行えたことで、就労支援事業収入は前年度に比べ約 30%の増となりました。

施設整備事業では、LED 化の実施により電気使用量が前年度の約 4.5%減となり、事業運営の効率化を進めることができました。また、カーブミラーの設置により、葉山はばたき前の車輛の通行が確認できることで、送迎車の運行や利用者の通行の安全性を高めることができました。

本年度は、施設管理事業の「福祉サービス利用者意向調査キット」の実施や研修事業の「第 35 回神奈川県障害福祉施設職員実践報告会」での実践報告により、日々のサービス提供や支援の実践における客観的な評価を得ることができました。次年度は、得られた現状の課題分析を基に、利用者個々のニーズ充足と支援の実践における専門性の向上に取り組みます。

支援センター風：逗子市委託相談支援及び葉山町委託相談支援事業（逗子市・葉山町委託）

1. 支援事業

①相談件数

逗子市：8,111件（実人数 291人） 昨年比+105件 +48人

葉山町：3,101件（実人数 123人） 昨年比+99件 -3人

両地域合わせて相談員員数 10名 常勤換算 6.4人 昨年比+0.4人

相談員 1人当たりの月の平均相談延件数 112件 昨年比-38件

②活動の状況

訪問、同行、電話相談、個別支援会議、関係機関とのサービス調整及びサービス等利用計画に係る事務を行いました。

2. 総括

相談実人数は増加し、相談件数も微増しています。一人当たりの相談件数は前年度より継続して下がっています。知的障害、身体障害及び障害児の相談に関しては逗子市内に相談を行う事業所が僅かながら増えており、利用者の振り分けも進んでいますが、新規相談受付件数は増えていることから、市内において当事業所が占める割合は依然として高い状況です。総相談件数は増加していますが配置される相談員が常勤換算で 0.4名増えたことから一人当たりの相談延件数は下がっています。

虐待に係る相談も数件あることから、今後さらに行政機関との緊密な連携に努めます。

支援センター風：指定計画相談支援及び指定障害児相談支援事業（逗子市指定）

1. 支援事業

①計画作成件数

逗子市民：360件 昨年比-38件 葉山町民：141件 昨年比-4件

②活動の状況

利用者 1名につき、アセスメント、サービス等利用計画案の作成、個別支援会議の開催、サービス等利用計画作成及びモニタリング作成がサイクルで行われており、これらに付随して面接、訪問、連絡調整及び申請等援助を実施しました。

2. 総括

平成 28 年度の計画作成件数が平成 27 年度の計画件数比 150%に対し、平成 29 年度は微減と なっています。これはモニタリング機会を逸していることが大きな原因と考えられます。平成 30 年度以降モニタリングを重視する制度となるため、モニタリング作成業務量の改善が必要です。

相談支援ソフトの導入は業務の平準化、個人情報の管理及び効率化に寄与しています。

担当件数の均一化を図るとともに、支給決定の管理を請求業務の一環に取り入れたことで引き続き改善の方向です。しかし、全体の相談件数が増加している事から当事業所規模における相談支援の量的提供については、中期事業計画に位置付けられた改善方法の検討と実施、点検が必要です。事業所単位の担当件数については、逗子市自立支援会議定例会へ提案を行い、継続的に検討してまいります。

支援センター風：基幹相談支援センター事業（逗子市委託）

1. 支援事業

①事例検討会

年間3回の事例検討会を開催しました。司法との連携、教育分野との連携など福祉分野以外の分野との検討機会を設けました。

②研修会

権利擁護・虐待の防止に関する研修を2回、地域移行定着に関する研修を1回及び相談支援に関する研修を2回開催しました。

2. 総括

逗子市自立支援会議定例会との連絡会を同日開催で通年行い、市内の課題を同事業の事例検討会や研修事業にいかすことが出来ました。神奈川県基幹相談支援センター連絡会への出席をし、基幹相談支援センターに求められる機能について他市町村の取組みを参考にする機会もありました。

支援センター風：逗子市地域活動支援センター（逗子市委託）

1. 支援事業

逗子市在住の各種障害者手帳保持者を対象として学習、作業活動等を提供する事業です。また制度のはざま事業として障害者手帳を所持していない方の受入れも行います。

①男女人数 男性20名 女性12名 合計32名

②年齢構成 20歳～66歳

③障害の状況

	人数		人数
知的障がい	20	精神障がい	5
身体障がい	3	その他	4
		合計	32

④入退所の状況

新規利用者 3名

退所者 0名

2. 総括

平成29年12月の人事異動に伴い、これまでの担当主査と非常勤支援員による体制を見直し、複数の兼務職員を配置しました。社会的技能獲得メニューを加え、この事業を利用した後を想定した支援を行いました。しかし、本年度は退所者が0名となり、長期にわたって利用している方と新規利用の方が中心の構成となりました。他の社会資源には馴染みにくい方が利用できる、はざま事業の必要性は継続している一方、相談支援部門とも積極的に連携し、他の資源に繋げる必要性は高まっています。

職員への研修機会が他の事業に比べ少なかったことから、障がいについての基礎的な知識・技術が得られる研修を複数受講しました。

支援センター風：逗子市自立支援会議運営事業（逗子市委託）

1. 支援事業

全体会議	運営会議	専門会議（権利擁護）	専門会議（就労支援）	定例会議
7/12、12/26	6/20、12/6	7/4、12/6、1/12	6/16、1/26	毎月第3水曜日

各会議に係る議事等の検討、資料作成、会議開催に関する調整と周知及び議事録の作成を行いました。

2. 総括

昨年に引き続き、専門部会・運営会議・全体会議の3層構造に加え、主に相談支援機関で構成される定例会議を開催しました。本年度より権利擁護部会を立ち上げ、障害者差別解消法が求められる差別解消支援地域協議会（逗子市障がい者差別解消支援地域協議会）の設立を主な議題とし、検討を行いました。

支援センター風：横須賀・三浦障害保健福祉圏域相談支援等ネットワーク形成事業（神奈川県委託）

1. 支援事業

本年度より神奈川県から受託しました。横須賀・三浦障害保健福祉圏域（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）における相談支援等のネットワークを形成し、圏域自立支援協議会を開催、障害者の地域生活支援の促進を図る事業です。受託2年を終えました。

圏域自立支援協議会	運営会議	相談支援ネットワーク会議	圏域事例検討会
7/21、2/9	6/13、10/31、1/25	7/25、11/14 1/16	8/29、10/10 12/12、2/27

相談支援ネットワーク会議では、医療的ケアのある重度障害者の地域生活をテーマに3回に渡り検討しました。平成30年度より医療的ケアのある障害児について市町村又は圏域単位での協議会設置が努力義務とされていることに鑑み、検討内容は報告書にまとめ、広域の関係機関に送付する予定です。

事例検討会では、圏域内市町村持回りで事例提供し、事例のアセスメントに特化した手法で開催しました。市町で行う事例検討会にこの手法が採用されるなどの成果がありました。

2. 総括

担当職員は兼務3名で行いました。地域生活支援拠点等整備など制度・施策の動向に合わせたテーマの設定は次年度も必要です。中期事業計画における委託事業受託検討事業の対象事業となっており、次年度以降の受託について検討します。

支援センター風：横須賀・三浦障害保健福祉圏域発達障害支援体制整備事業（神奈川県委託）

1. 支援事業

業務内容としては①地域の関係機関からの支援依頼に応じたコンサルテーション②支援困難ケース等はかながわA（神奈川県発達障害支援センター）との連携をコーディネート③圏域の発達障害に係る課題の抽出④検討機会の構築（地域連絡会の開催）です。

コンサルテーション業務	かながわA連携業務	地域巡回業務	関係諸会議への参加機会
82回 (昨年比+35件)	12回 (昨年比-3回)	58回 (昨年比+33回)	42回 (昨年比+25回)

2. 総括

ほぼ全ての業務において、昨年に比べ増加となりました。同事業が普及されたことと、昨年の実績を踏まえた地域ニーズの拡大が要因と考えます。平成30年度の神奈川県地域生活支援事業においても強化の対象となっている事業であり、常勤換算1名配置を求められることとなりました。本年度は昨年度巡回することのできなかった関係機関への巡回と地域連絡会の活性化に取り組めます。

支援センター風：介護保険・居宅介護支援事業（神奈川県指定）

1. 支援事業

自宅において日常生活を営むために必要なサービスを利用できるよう居宅サービス計画を公正中立の立場で作成する介護保険法に基づいた事業です。

①給付管理実績（ケアマネジャーは給付管理実績に基づき介護報酬を得ます）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
管理数	39 (+6)	38 (+2)	39 (+3)	39 (+4)	39 (+3)	38 (+2)	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
管理数	39 (+3)	39 (+3)	38 (±0)	37 (-2)	38 (-1)	37 (-1)	460 (+22)

②その他

利用者の平均年齢は75.6歳（-1歳）、平均介護度は2.64（+0.1）でした。

障害福祉サービスを併用している方は15名でした。

2. 総括

平成30年2月に実地指導を受けました。文書指導にあたる指摘事項はありませんでしたが、口頭による指導は数点受けました。受けた指導内容については既に改善を行いました。給付管理件数は昨年比22件増加しました。人事異動に伴い、介護支援専門員の配置を1名減（常勤換算-0.25人）としました。例年と同じく半数に近い方が障害福祉サービスを併用しており、介護保険法と障害者総合支援法双方の連携のもとケアマネジメントを進めました。障害福祉における相談支援関連の制度改正では、さらに居宅介護支援事業と同一の業務が追加され、例年以上に障害福祉サービスとの連携が求められます。

支援センター風：各事業共通

1. 施設管理事業

各事業における事務の効率化のため、相談支援及び介護保険においてクラウドサービスを引き続き利用しました。

2. 施設整備事業

平成29年5月から6月にかけてmai!えるしい2階部分を改修し、同7月に移転を完了しました。2階事務室の雨漏りの補修工事を行いました。専門業者によるネットワーク環境の構築を行い、情報管理体制を向上させました。

3. 研修事業

実施日	内 容	参加者
5/9	介護保険指定事業者等指導講習会	染谷
5/12	地域包括ケア法案と介護保険制度	染谷
5/30	発達障害のある子供の理解について	萩原・大野
6/4	発達障害支援技術習得研修（全3回）	菊池
6/8～	ケアマネジメント適正化研修（全4回）	染谷・稲木
7/14	苦情解決研修会	鹿遊・染谷
7/15	気になる子供へのアプローチ	菊池・堀内
7/24	精神保健福祉研修会	鹿遊・大野
7/29	自閉症療育者のためのトレーニングセミナー公開講座	堀内
8/1	障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援研修会	吉原・鹿遊
8/2～8/4	全国発達障害者地域支援マネジャー基礎研修	菊池
9/24・9/25	基幹相談支援センター全国研修会	吉原
10/11	神経性障害・ストレス関連障害について	大井
10/23	認知症疾患研修「若年性認知症について」	染谷
10/18	ファシリテーション基礎研修	吉原
10/18～10/20	全国発達障害者地域支援マネジャー応用研修	菊池
10/18	障害支援区分認定調査員研修	荒井
10/20	個人情報保護説明会	染谷
10/23	高機能自閉症者への支援	菊池
11/28	援助のプロになるために 初任者研修	堀内
12/8	若年性アルツハイマーと生活習慣	染谷・稲木
12/11	鎌倉基幹相談支援センター研修 30年法改正の動向	菊池
12/22	親亡き後のライフデザイン	菊池
1/29・1/30	相談支援事業全国連絡協議会コーディネーター研修	菊池・吉原
2/19	相談支援研修会	藤田・大井
3/13	平成30年度報酬改定とケアマネジメントについて	染谷

4. 防災事業

①訓練

- ・支援センター風と合同で、火災避難訓練2回、津波避難訓練1回を行いました。
- ・防災備品の点検を行い、防災用品リストの更新及び非常食の追加購入をしました。

グループホームジャストサイズ（共同生活援助）

1. 支援事業

- ①男女人数 男性 27 名 女性 11 名
- ②年齢構成 27 歳～61 歳（平均年齢 43 歳）
- ③障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	0	0	1	8	7	6	16	38

④障がいの状況

	人数		人数
知的障がい	28	重複障がい（知的、精神）	0
重複障がい（知的、身体）	9	重複障がい（知的、身体、精神）	1
		合計	31

⑤入退所の状況

- 新規利用者 7 名
- 退所利用者 1 名（平成 29 年 12 月 29 日逝去）

⑥支援の内容

非常勤職員の支援を常勤職員が定期的に巡回し、確認するという体制には至りませんでした。が、年度の後半から少しずつ入職者を増やすことができました。同時に宿泊勤務者は概ね各住居専任で勤務に就けるようになり、事故等の発生を少なくすることに繋がりました。

2. 施設管理事業

法令に基づき平成 29 年 9 月と平成 30 年 3 月に消防設備の点検を実施しました。専門業者による各住居の清掃については実施しませんでした。

3. 施設整備事業

平成 30 年 3 月にジャストサイズ小坪第 1 及び第 2 が完成しました。

4. 研修事業

各住居の会議が不定期開催となりました。その会議で支援に関する検討等を実施する予定でしたが、十分な成果が得られませんでした。

実施日	内 容	参加者
6/29	障害者グループホーム制度の理解 ～障害者総合支援法の基礎と今後の展望～	酒井
7/13	自閉症の理解 ～障害特性とグループホームでの関わり方～	佐々木
7/14	苦情解決研修会（基礎編）	笹井
8/3、4	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	三留
8/9	障害福祉施設等危機管理講習会	鈴木
10/17、18	防火管理者研修	三留
11/14	利用者の思いに寄り添った支援とは ～グループホームにおける個別支援のポイント～	植草
11/21	障害者の権利擁護 ～グループホーム職員としてできること～	鈴木真琴
2/14	平成 30 年度神奈川県における障害者グループホーム関連施策の動向	鈴木創
2/27	新入行動力強化研修（初任者キャリアパス生涯研修課程フォローアップ）	辰仁

5. 防災事業

- ①訓練 平成 29 年 8 月及び平成 30 年 3 月に避難訓練を実施しました。
- ②備品 既存の住居について保存水の入替えを行い、平成 29 年 4 月の住居増に向けて、物品の補充を行いました。

6. 総括

ジャストサイズ堀内第 1・第 2 及び新池子の開設に向け、人員の確保を進めてきたものの行き届かず、職員の異動で 4 月にジャストサイズ堀内第 2 が、その後 5 月にジャストサイズ堀内第 1 及び新池子が開設しました。平成 30 年 4 月のジャストサイズ小坪開設を控え、様々な媒体を使用して職員募集を進めるとともに、応募が少ない原因についても検討しました。原因の一つに業務内容が分かりにくいことがあると判断し、年度の後半は業務内容の説明会を開催しました。その結果 4 名の参加者中 3 名が入職に繋がりました。今後も定期的に業務内容説明会を開催することで、人員の確保に繋がっていきたいと考えています。

施設の老朽化と消防法改正による消防用設備の設置義務化に伴う対応として、逗子市小坪 5 丁目に新たなグループホームの建設を進め、平成 30 年 3 月下旬に竣工することができました。

非常勤職員の育成については、各住居で行う会議において継続的に取り組む計画でしたが、実際にはそこまで掘り下げることができませんでした。経験年数だけに頼らず、障がいに対する正しい理解を持って支援を行うための土台作りとして、引き続き支援向上委員会が取りまとめた「支援の手引き」を利用し、職員育成を進めていきます。

ジャストサイズ小坪／ジャストサイズ堀内（短期入所）

1. 支援事業

ジャストサイズ小坪

- ① 男女人数 男性 6 名 女性 0 名
- ② 年齢構成 22 歳～44 歳（平均年齢 35 歳）
- ③ 障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	0	0	0	0	1	2	3	6

ジャストサイズ堀内

- ① 男女人数 男性 10 名 女性 13 名
- ② 年齢構成 20 歳～50 歳（平均年齢 36 歳）
- ③ 障害支援区分

	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
人数	0	0	1	2	6	9	5	23

2. 総括

平成 29 年度は、5 月にサービス提供住居を桜山から小坪に移し、原則男性の利用としました。また、堀内は原則男女各一名の利用として開始しました。サービス提供住居が変わったことから、当初はグループホーム入居者の状況をみながら事業を提供しましたが、7 月からはそれまでの定期的な利用を念頭に置いて利用していただきました。稼働率はそれまで短期入所事業を利用していた方がホームへ入居されたこともあり、それほど高くはありませんでした。今後は緊急時に対応することを考えた事業運営を模索していきます。

委員会

支援向上委員会（委員長：小林倫）

各事業所内で生ずる対応が困難なケースに対して、どこに要因があり、どのような方法で、また、どの場面に介入すると改善ができるのかという「問題（課題）整理の方法」を検証しました。その流れを①委員会で助言・提案を作成②各事業所の会議等で報告③各事業所で実践④委員会で実践結果の報告と検証という4つのサイクルで取り組む仕組み作りを行いました。

次年度においても同様の取組みを継続し、法人職員全体の支援力向上を目指します。

安全衛生委員会（委員長：萩原崇至）

「感染症対策部会」と「労働安全衛生部会」の二部会制をとり、課題別に取り組みました。

感染症対策部会では、平成28年度に改訂した感染症ハンドブックの内容の確認と修正を行い、感染症ハンドブックを新たに改訂しました。

また、感染症情報の共有と感染症予防の啓発として、利用者・職員の感染症の罹患情報について毎月集約し、各管理者へ情報を提供しました。

労働安全衛生部会では、各事業所において5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の定着を目指し、委員が各事業所を訪問し、課題を集約し、改善指示を行いました。

メンタルヘルス対策として独立行政法人労働者健康福祉機構神奈川産業保健総合支援センターの永島直美氏を講師に迎え、常勤職員を対象にした研修を実施しました。

虐待防止委員会（委員長：松倉和則）

障害者虐待の実態と発生の要因や課題の検証を目的として、障害者虐待対応事例集の虐待事例をもとに、各事業所の現状と照らし合わせながら事例検討を行いました。

また、法人全職員を対象とした研修企画では、みなと横浜法律事務所の内嶋弁護士を講師に迎え、障がいのある方との関わりと虐待防止をテーマに研修を実施しました。

これらの委員会活動を通して、虐待発生の要因である“支援者の知識不足や技術不足”、また、“無意識に陥ってしまう支援者都合による関わり”という身近に潜む課題の検証とともに、対人関係の原点からより良い関わりを追及するという虐待防止への取組みの方向性を見出すことができました。

コンプライアンス委員会（委員長：菊池一美）

以下の3つの取組みを軸に据えて活動しました。

「職員行動強化月間」では、2年目となる事業所で設定した小さなルールを守ることで職員一人ひとりの行動から意識を変えることを目的に、事業所職員がルール作りに参画できるように取り組みました。

「職員研修」は、前年に引き続き公益社団法人かながわ福祉サービス振興会理事長である瀬戸恒彦氏を講師に迎え常勤職員を対象として実施しました。

「委員の勉強会」として、理事長より決裁について学ぶ機会を持ちました。次年度も委員の勉強、日々の取組み、研修機会の設定を継続しつつ、事業所間で行われているサービス給付費請求事務の点検の取組みとも連携し、より実務的なコンプライアンス体制の構築に臨みます。

湘南の風感謝デイ実行委員会（委員長：大木修）

1. 日 時

平成 29 年 10 月 7 日（土）10 時～14 時

2. 場 所

湘南の風もやい全館、もやい駐車場、小坪コミュニティセンター、小坪区会天王浜駐車場

3. 利用者等動員状況

	利用者	職員	家族会	ボランティア	合計
計	17	74	14	35	140

※上記ボランティアについては個人、車イスの会、逗子開成中学、逗子市民生委員・児童委員協議会、逗子市社会福祉協議会ボランティアセンターの協力によるもの。

4. 共 催

社会福祉法人湘南の風 後援会

5. 後 援

逗子市社会福祉協議会、葉山町社会福祉協議会

6. 協 力

逗子市、葉山町、小坪区会 小坪商栄会、西町祭礼委員会、リビエラ逗子マリーナ、逗子市消防署、逗子市手をつなぐ育成会、葉山町手をつなぐ育成会、逗子開成高等学校、もやい家族会、えいむ家族会 葉山はばたき家族会、日本栄養給食、お祭り委員会（もやい、えいむ、葉山はばたき、mai!えるしい、各事業所の利用者）

7. 来場者数

400 名（推定）